

日新校区社会福祉協議会

令和4年3月

Vol.80

日新校区社会福祉協議会
会長／坂井 克宏
所在地／佐賀市長瀬町1-20
TEL／0952-26-9216

日新福祉だより

令和3年度 地域応援研修会

令和3年12月2日にメートプラザ佐賀で、佐賀市社会福祉協議会主催により、佐賀市内各校区の民生委員等150名を対象に、「令和3年度 地域応援研修会」が開催されました。

コロナ禍が長引き「人」と「人」とが距離を置くようになり、地域で活動する様々な団体等の取り組みが中止、延期せざるを得ない状況になって、住民相互のつながりも希薄化してきたことが懸念されている。

そうした中でも地域は動いており、地域福祉活動を止めるわけにはいかないことから、「これから地域福祉活動と共に考える」をテーマに地域のいろいろな団体等と共に協働していくための一助となればと開催されました。

太良町社会福祉協議会地域福祉係長の中村秀貴氏から「身近な地域住民と共にささやかな幸せを感じられる地域づくりを目指して」として、1回5円（ご縁）でのチョコットボランティアの取り組みなどコンパクトな町ならではの、地域での住民活動や地域活動など数々の取り組みが話されました。



にっしん茶屋 「秋の茶会」

コロナの収束を願いつつ、参加人数を限定して、令和3年10月18日（木）13：30から日新公民館多目的ホールで開催されました。

公民館長のあいさつで、この状況において「お茶を味わっていただきたい」とありました。

[お茶を飲むの唄] の紹介がありました。その後、各テーブルに3名に「にっしん茶屋」の方が「お茶のおもてなし」をされました。お茶とお菓子を美味しくいただきました。

最後に、健康部会の踊り、佐賀弁ラジオ体操、炭坑節と唱歌を歌って終わりました。

皆様コロナ感染の状況下、注意しながら交流を図って、楽しんでおられました。

訪問交流事業

令和2年度から初めて実施しています。「ひまわり会食会」の開催がむずかしいので、訪問交流事業（クッキー配布）を実施しています。

日新校区で65歳以上の方が約2900名で、内75歳以上のかたが約1500名であります。

それらの方に支援することを検討して、昨年度は75歳以上の「ひとり住い」の方約370名に民生委員に配布していただきました。

本年度も、2月に75歳以上の「夫婦または同居」の方約380名に配布しました。

この事業は、校区の社会福祉協議会で実施しました。

令和4年度も実施することで計画しています。



しめ縄づくり

年末年始地域交流事業として、12月13日(月)に公民館多目的ホールにて開催されました。今回はコロナ感染症の対策として前半、後半と二部に分けて60人超の方々がしめ縄づくりに参加されました。

始めに日新校区社会福祉協議会 坂井会長の挨拶で始まり、次に今回ご指導頂くマミフラワーデザイン佐賀登録クラスの田中みゆき先生から、しめ縄の由来、うんちくの講義があり、それから、しめ縄づくりが始まりました。

製作には田中先生とアシスタントの田代さんが、細かく注意点や、気をつけて仕上げなければならない所を教えて頂き、参加者の皆さんもお隣さんの出来栄えを気にしながらそれぞれ個性あふれるしめ縄が完成しました。

しめ縄が完成すると、次は女性の会の会員により暖かい豚汁が振舞われ、しめ縄づくりに参加された皆さんもほっこり温まって帰路につかれました。

女性の会会員の皆様、温かい豚汁のご提供ありがとうございました。



「日新福祉だより」の発行、「ひまわり会食会」、「訪問交流事業」、「しめ縄づくり」などの行事は、社会福祉協議会の赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金の分配助成金が使われています。

ニッシンライトファンタジー

令和3年12月10日（金）日新公民館駐車場で17：30から開催されました。

今年度は前年度よりグレードをアップした「イルミネーション」を計画されて、地域のボランティアの皆様の協力により設置されました。

また、日新小学校各クラスに「フラパン」にいろんな絵を描いてもらったものを設置してライトアップしました。

このコロナ感染が収束しない状況下、校区民の交流 特に子ども達に元気を与えることにも寄与できました。

点灯初日には参加者（250名）に参加賞を準備し、秋の夜長を楽しんでもらいました。

ライトアップは、令和4年1月10日までの1ヶ月間点灯されました。

この事業は、公民館の主催事業として実施されました。

